

1章. 人はパンだけで生きるのではなく

私たちの毎日の生活には欠かせないものがあります。目には見えませんが愛情はなくてはならないものでしょう。さらに物質的な財産や助けは現実の生活の中で欠かせないものといえます。イエス様は物質的なこと、財産についてどのように私たちに教えているのか考えてみましょう。

ルカの福音書 12 章 13 節- 21 節を読みましょう。

1. 農家の主人(金持ち)の語った言葉と、イエス様の語った言葉を、この箇所から捜してください。

•農家の主人(金持ち)の言葉

•イエス様の言葉

2. 豊作になったとき、彼が取った行動と、自分に言い聞かせている言葉を、あなたはどのように思いますか？

3. 自分の生き方が「神の前に富む」「神の前に富まない」と今まで考えたことがありますか？

イエス様はすべての命令の中で、どれが一番大切ですかと質問されたとき、こう語られました。

『一番たいせつなのはこれです。・・・「心を尽くし、思いをつくし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。次にはこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』この二つより大事な命令は、ほかにありません。』

マルコ 12:29-31

4. あなたは今まで、どんな順番で愛していましたか？

5. 自分を愛することは大事なことでしょうか？

聖書 ルカ 12:22-31 を読みましょう

6. 神は将来のことを考えたり、計画を立てたりすることを禁じてはいませんが、心配するのをやめなさいといわれています。心配しやすい人間に神は鳥や花を見ながら語られました。この箇所からあなたはどんなことを受け取りましたか？

7. マタイの福音書 4:4 を読んでから、下に書いてください。

イエス様はこの聖書のことばを旧約聖書から引用しました。申命記 8:3 を開いてみましょう。イスラエルの民が指導者モーセによって、約束の国へ旅しているときに語られたものです。

8. パンは物質的なものの象徴です。イエス様は物質的なものが全くいらないと教えているのでしょうか。イエス様が言われた真の意味は何ですか？

9. 今日の学びであなたは、自分に関してどのようなことを確認しましたか？下から選んでみて下さい。

- 農家の主人と同じように神のことは全く考えていなかった
- 自分は今まで生きるために食べることを追求してきた人生だった
- パンは生きるために必要なものではあるが、神の言葉が必要であると分かった
- キリスト教は物質を否定していないことを知った
- 老後の為に蓄え、安心して飲んで楽しむことしか今は考えられない
- 一番大切な戒めは神、自分、隣人への愛の順序であることを知った

- 今まででは豊作になったら新しい蔵を建て、自分の魂の安心は物質、お金からやってくる
ことしか考えなかった。しかし、それだけではないのかなと思えた
- 神の視点、考え方ということを少し意識していきたいと思った
- 自分は必死に生きてきた、しかし、むなしさをいつも抱えていた
- パンは必要だが、それ以上に神を認め信じるのが大切なことだとわかった
- こんな自分が神によって本当に変わるのか半信半疑ではあるが、神を信じ歩んで生
きたい

聖書のことば

人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる

マタイ 4:4

だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日そ
の日に、十分あります。

マタイ 6:34